

熱中症に注意!!!

通常 注意 警戒 厳重警戒 危険



地球温暖化により世界中で観測史上初という異常な暑さが続いています。

今夏の『熱中症警戒アラート』の指数も連日「危険」を更新しており、子どもから高齢者まで救急車で搬送される方が急増しています。

この状況を踏まえ、理事会は新たに《『熱中症警戒アラート発表中』の就業についての基準》を設定しました。

●「基準」を同封しています。

高齢者の我々は、暑さを感じにくく熱中症になりやすく、また、仕事への責任感が強く、我慢して熱中症になりやすいので、調子が悪いと思ったら仕事を中止する勇気を持つことが大事としています。

●「熱中症」予防としては・・・

水分・塩分補給や熱中症対策グッズの利用、日頃からの体調管理を謳っています。同じ就業会員にも気をくばり、万一の場合は救急車を呼ぶことも対応策としています。会員の皆さまにおかれましては就業時だけでなく、日常生活においても「自分は大丈夫」とか「屋内だから大丈夫」と過信をせず、寝不足や深酒をせず、規則正しい日常生活を送っていただき、夏を乗り切ってください。新型コロナ感染症も感染者が増加し、会員にも感染者が出てきています。「熱中症」と「コロナ」を同時に注意してください。

(安全・適正委員会)

7月末の事業実績

※()は昨年比

- 会員数：2,218人(+8人)
- 事業高累計 (含 派遣)：260,179千円(+14,406千円)
- 就業実人員 (含 派遣)：1,659人(+66人)

今年度の委員会活動(2)

イベント推進委員会

本年度、2名の新しい委員が加わり、6名で構成されています。

楽しくエアロ・びよび

よサロン・子ども将棋大会・ヒロタdeうたごえ・会員作品展・グラウンドゴルフ・シルバーフェアー・研修バスツアーなど、委員会活動は、多岐多様に渡っています。

委員は行事ごとに役割分担を行い、責任を持って頑張っています。

企画するイベントは、会員だけでなく一般市民も対象に『楽しく・ためになる』をモットーに取り組んでいきますので、一人でも多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

今後共、皆さまのご協力、ご支援をお願いいたします。

新委員紹介②



《イベント推進委員会》N.M 委員

優しい皆さんにご指導を受けながら微力ですが楽しく頑張りたいと思っています。いろいろなイベントで沢山の人に出会えることを楽しみにしております。よろしくお願いたします。



《イベント推進委員会》N.T 委員

今話題のアスリートや、成功している実業家、評判の学者のような一流の人物には足元にもおよびませんが、二流の、いや三流の器用貧乏であるという自覚、それと保険会社勤めで鍛えた折衝力を委員会で活かせたらと思っています(いずれも錆び付いていますが役に立つかも、?)。

センター無事故継続日数

- 就業中：3日
 - 就業途上：6日
- (2023年7月31日現在)



『広報紙配布会員のお声』

F.H会員(鳴尾地区)



春秋は早朝から夕方まで、夏は早朝より、冬は日中の気温が上がってからと広報紙の配布時間には気をつけています。一番気をつけていることは「配布漏れ」をしないことです。配布業務は、歩くことで体力維持に役立ち、配布中に挨拶をかわすので、町内に顔見知りが増えました。ご苦労様の声を掛けてもらうとホットな気分です。

就業現場風景

【私のお仕事】

H.H会員(鳴尾南地区)

【機械点検業務】

昨年12月に西宮市に引っ越してきました。仕事もせずいたら、ただでさえ人と交わることが苦手な性格なので、社会とのつながりが消えてしまうような気がしました。そこで年が明けた1月に『シルバー人材センターの説明会』に参加し、2月に仕事の紹介をしていただき、3月には幸運にも現在の仕事に就くことができました。ケーブルテレビの会社で、返却されてきたレンタル機器を再利用のため清掃、動作チェック、新規のセットなどの仕事です。グループ作業ですが、最初は何をどうしてよいのか分からず、機器の品名、作業の要領を得るには時間がかかりました。皆さんが優しく助けてくださり、少しずつ仕事ができるようになってきました。メンバーの皆さんは仕事の時は真剣ですが、時間外には冗談を言ったり、面白い話をしたりしてリラックスできる時間もあり、これからも楽しく仕事を続けていくことができそうです。



『広報紙配布責任者会議』を開催

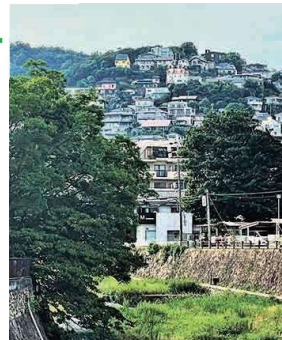
7月18日、『広報紙配布責任者、副責任者会議』を久々に開催することができました。お会いし、挨拶される皆さんの顔も明るく、新任責任者さんも参加するにぎやかな会議となりました。会議内容は、配送業者が1年で変わったことによる不具合はないか、また、事務局側から配布に対しての市民からの要望や注意点の報告、「配布完了報告書」の書き方などの話がありました。その後は、地区活動委員会の進行で各地区の意見交換があり、各地区の工夫や苦労が聞けた有意義な内容でした。(地区活動委員会)

『毛筆筆耕講習会』を開催

7月18日、本会員を講師として、お仕事に繋げるための『毛筆筆耕ブラッシュアップ講習会』を開催しました。5名の参加会員は講師の厳しい指導のもと、楷書の基本をしっかりと勉強。書き方だけでなく、使いやすい筆の選び方なども教えていただきました。受講生全員が、次の『ブラッシュアップ講習会』に期待を膨らませていました。(会員増強委員会)

西宮の文学散歩⑧

「白い巨塔」主人公の豪邸



国立大医学部を舞台に医学界の腐敗にメスを入れた山崎豊子の小説『白い巨塔』。主人公の財前五郎の居宅は夙川の山の手で「庭園燈に照らされた二百五十坪ほどの庭は、芝生と小さな花壇だけの手入れの行き届かない庭であったが、国立大学の助教授の家としては、贅沢な住まいだった…」と描かれています。山崎豊子は、1924年大阪の船場で生まれ、代表作に『白い巨塔』『不毛地帯』『沈まぬ太陽』などがあり、全てベストセラー。兵庫県が舞台の作品に『女の勲章』『華麗なる一族』があります。(広報委員会)

夙川、山の手の贅沢な住まい